



各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先: 財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL: 03-6261-9511)

「第2回乃至第4回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第5回新株予約権の発行並びに新株予約権の買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）の締結に関するお知らせ」の補足説明

2025年3月28日付開示「第2回乃至第4回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第5回新株予約権の発行並びに新株予約権の買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）の締結に関するお知らせ」について、下記の通り経緯並びに事業方針についての補足説明をさせていただきます。



当社は、2025年1月30日に暗号資産投資事業の開始を公表し、以降、多数の投資家の方々から当事業に対する期待の声を頂きました。

当社では投資のタイミングをうかがってきたところ、第1回目の投資に適した市場環境が訪れたと判断し、3月11日には5億円を目途としたビットコインの購入方針を開示し、3月13日にはうち1億円分の購入を実施致しました。当社の暗号資産投資事業は、短期のトレーディングを目的とするものではなく、中長期での暗号資産の優位性を評価しての中長期での投資であり、今後も市場環境を見ながら買い増しを続けていく方針です。

一方、当社の暗号資産投資事業は、余資の運用ではなく、1つの事業としてインパクトのあるレベルを想定しており、資金調達の可能性についても検討をしてみました。今般、EVO FUND 等と新株予約権の発行による最大約30億円の資金調達で最終合意に達したため、3月28日に公表をさせていただきました。当社では、本資金調達で調達した資金の全額を、暗号資産投資に充当する方針です。

暗号資産の代表格であるビットコインの価格は、短期的には上昇・下落を繰り返しながら、中長期で

は大きな成長を遂げてきました。当社は、暗号資産について、オルタナティブ金融資産としての特性に加え、当社が事業の軸に据える AI と密接な関係を有していることから、中長期での投資に積極的なスタンスを有しております。



中長期でのスタンスでビットコインを中心とした暗号資産への投資を行い、暗号資産関連の様々なビジネスの可能性を追求するとともに、当社が軸とする AI との融合も追求しながら、事業価値を最大化し、2030年3月期時価総額目標として掲げる1,000億円を目指し、スピード感をもって全社一丸となり、株主価値の最大化に注力してまいります。

引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上